



平成28年 4月27日

各位

会社名 ユナイテッド株式会社
代表者名 代表取締役会長 CEO 早川 与規
(コード 2497 東証マザーズ)

平成28年 3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年 7月30日に公表した平成28年 3月期通期の連結業績予想の修正と、平成27年5月11日に公表した配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

平成28年 3月期通期連結業績予想の修正 (平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 |
|------------------------------|------------------------|----------------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 11,500 ～ 13,500 | 百万円 1,500 ～ 2,000 |
| 今回修正予想 (B) | 11,131 | 1,509 |
| 増減額 (B - A) | △368 ～ △2,368 | 9 ～ △490 |
| 増減率 (%) | △3.2% ～ △17.5% | 0.6% ～ △24.5% |
| (ご参考) 前期通期実績 (平成 27年 3月期) | 8,330 | 370 |

(注) 業績予想をレンジ形式で行った場合における業績予想の修正等の開示が必要となる要件として、「新たに算出した予想値の特定の数値を直近の予想値のレンジの上限・下限、それぞれで除した数値のいずれかが売上高にあつては 1.1 以上又は 0.9 以下、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれかにあつては 1.3 以上又は 0.7 以下の変動があつた場合」があり、今回の当社の場合、連結業績予想の売上高における前回発表予想「上限」数値と今回修正予想数値との増減率が△10%以上となる為、業績予想の修正等の開示要件に該当することになります。

※営業利益においては業績予想の修正等の開示要件には該当いたしません。

2. 業績予想の修正の理由

平成 28年 3月期通期の連結業績予想については、期初に公表した連結業績予想(売上高 10,000～12,000 百万円、営業利益 800～1,000 百万円)を平成 27年 7月 30日に上方修正いたしました。

これは第 2 四半期にインベストメント事業において、(株)富士山マガジンサービス株式の売却と売却、およびファンド投資先の上場に伴うファンド運用益によって、インベストメント事業

で発生する利益が期初想定を上回る見込みとなり、将来的な利益規模拡大に向けて注力事業への先行投資の強化をおこなうことを考慮しても、売上高、営業利益ともに期初予想を上回る見通しとなったためです。

その結果、アドテク事業の成長加速が貢献して営業利益は上方修正後の予想の範囲となる見込みですが、売上高については事業構造転換を進めていたスマートフォンアプリ事業の売上高が想定していた伸びを下回ったことが主な要因となり、上方修正後の予想レンジの「上限」に対して△17.5%となる見込みです。

以上の結果、平成28年3月期の連結業績は、売上高11,131百万円、営業利益1,509百万円となる見通しです。

3. 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想 (平成27年5月11日公表) | 円 銭 — |
| 今回修正予想 | — | — | — | 5.00 | 14.00 |
| 当期実績 | — | 9.00 | — | | |
| 前期実績 (平成27年3月期) | — | 1.00 | — | 4.00 | 5.00 |

4. 配当予想の修正の理由

当社では、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと認識しております。経営体質強化のための内部留保を勘案しつつ、企業業績に応じた配当政策を実施することを基本方針とし、当面の配当方針について連結配当性向20%程度を目安としております。この方針に基づき、期末配当予想を1株当たり5円といたしました。

以上

■本リリースに関するお問い合わせ

ユナイテッド株式会社 IR担当

Tel: 03-6821-0008 E-mail: ir@united.jp